

《単位互換提供科目詳細》

* 科目 No. ◆2207

科目概要記入欄

1. 開設大学名	広島文化学園大学	科目開講 キャンパス	広島県民文化センターサテ イトキャンパスひろしま		
2. 科目名	正式科目名	現代アジアを知る ーチャイナ・プラス・ワン (China plus one) 副題 に対応し、グローバル化する世界で活躍する 人材育成のためのプログラムー			クラス名
	副題				配当年次
	旧科目名				1年
	受入学年				
	学問分野	番号	42	名称	国際関係
	サテライトで開講される科目の科目群			A群	B群
3. 担当教員名	磯田 朋子				
4. 単位数	2単位	5. 開講学期	後期		
6. 開講期間 曜日・時間	2015年10月2日(金) ~ 2016年1月22日(金) 金曜日 18:05 ~ 19:35				
個別開講日	1回目 10/2	2回目 10/9	3回目 10/16	4回目 10/23	5回目 10/30
	7回目 11/13	8回目 11/20	9回目 11/27	10回目 12/4	11回目 12/11
	12回目 12/18	13回目 1/8	14回目 1/15	15回目 1/22	16回目 /
	試験日 /				
7. 基礎知識の有無	1. 「基礎知識を必要とする科目」 () 2. 「基礎知識を必要としない科目」				
8. 募集人数 (総授業定員)	40人 (50人)	9. 定員超過時の 選考方法	書類選考		
10. 科目内容・ 授業計画	<p>本講義は、広島県が実施する大学連携による新たな教育プログラム開発・実施事業の一環として開講される。H26年度開講の「産業社会研究—グローバル社会で活躍できる人材育成」を発展継承して、開講するものである。</p> <p>全講座を通して、チャイナ・プラス・ワン(China plus one)に対応することができ、発展するアジアで活躍できる人材の養成を目標としている。</p> <p>①グローバル社会と人材育成：H26年度の講座を振り返るとともに、グローバル人材育成が求められる現状を理解する</p> <p>②圧縮された近代とアジアの近代：近代化の大きな流れの中で変化を捉える。</p> <p>③広島でのグローバル化とアジア：アジアと連動する広島の経済、広島企業の進出</p> <p>④日系企業の中国戦略：中国の労働市場と中国社会農民工の実態から</p> <p>⑤世界の工場から世界の市場：市場としての中国、展開する日本のサービス</p> <p>⑥グローバルビジネスの展開：モノからコンテンツへという経済の流れを踏まえて</p> <p>⑦海外投資：NIEs、ASEANとODA、直接・間接の投資によるカネの移動</p> <p>⑧労働移動の事例と課題：雇用と労働のグローバル化について考える</p> <p>⑨フィリピンの文化と経済事情：近年のフィリピンにおける出移民文化の浸透やビジネスアウソーシング業の普及に伴う文化変容</p> <p>⑩オーストラリアにおける人材育成：オーストラリアの経済、そこでの人材育成、日本との関係</p> <p>⑪ベトナムと日本の交流：留学生、観光客等との移動を通じた日越関係</p> <p>⑫ベトナムの生活と文化：ベトナム人とのコミュニケーションにむけて</p> <p>⑬日系企業ベトナム進出の現状：現地の文化を踏まえた課題と留意点</p> <p>⑭ベトナム労働文化とベトナム企業の実態：ベトナムでの起業の課題と留意点</p> <p>⑮パルティディスカッション：これまでの内容をまとめ、実践へ向かう準備とする。</p>				

11. 試験・評価方法	①ディスカッションへの参加度など平常の状況（30%） ②毎回のふりかえりレポート（40%） ③最終の課題レポート（30%） 以上を総合的に評価する。		
12. 別途負担費用	平成 28（2016）年 3 月に中国（大連）、ベトナムで 10 日程度の海外現地研修を予定しています（希望者のみ）。渡航費用の半額（約 15 万円）、現地での生活費（約 5 万円）については自己負担になります。		
13. その他特記事項			
14. サテライト科目の社会人受講について	科目等履修生（単位付与）として受け入れ	(可)	否
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ	(可)	否